

論文特集「2014年度全国大会速報論文」にあたって

鷺尾 隆
(大阪大学)

本論文特集は、2014年5月12～15日に松山市で開催された2014年度人工知能学会全国大会(JSAI 2014)からの推薦に基づく全国大会速報論文の特集である。全国大会速報論文特集号はJSAI 2009から始まった試みで、JSAI 2014における今回の企画は6回目となる。

昨年度までは、全国大会発表申込み時に発表者自身が応募申請した発表のみを2名の評価者で評点した。今回はさらに広範にハイレベルな論文を集めるため、応募申請以外でも研究の重要性・新規性、技術的な質と記述の明瞭性、口頭発表のわかりやすさなどの観点から、評価者が特に優れているとみなした発表論文も評点した。大会終了後に評価担当プログラム委員会の審議を経て、一般セッション、オーガナイズドセッション、近未来チャレンジセッションの対象発表584件から、高評点評価を受けた27件が速報論文候補に選ばれた。この中で推薦に応じた発表者から、14件の速報論文原稿が投稿された。さらに、学会編集委員会によって設置された全国大会速報論文特集号編集委員会において、通常の速報論文と同じく2名の査読者と担当編集委員によりこれらの論文の審査が行われ、最終的に以下に示す6件の論文(著者名は省略)が採択された。

- PageRankのための高速なTop-k検索
- グループ推薦のための非線形行列分解
- 接続行列埋め込みに基づく複数種類の多項関係の同時予測
- 複数のトピックの時間的依存関係を考慮した時系列トピックモデル
- 文節間改行レイアウトを有する日本語リーダーの読み効率評価
- 規範意識と自己効力感に駆動されたコミュニティ活動の形成と拡大

これらの論文は、人工知能学会論文誌, Vol.30, No.2 (2015)としてJ-STAGEで公開されている(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tjsai/-char/ja/>)。

ここ2～3年で人工知能学会全国大会の発表件数は急激に増加しており、オーガナイズドセッションや近未来チャレンジなどの内容もますます多様性を増している。今回採択された論文もそれを反映して、人工知能やその応用全般にわたる広がりをもっていることが見て取れる。これらは速報論文とはいえ600件近い発表の中から選ばれた6件であり、いずれも非常に高レベルの内容を有している。日本の人工知能研究の先端トレンドを端的に表す論文特集として、読者の皆さん楽しんでいただければ幸いである。

最後に、膨大な発表を評価していただいた評価担当の方々、速報論文推薦候補を選定いただいた大会委員の方々、推薦に応じて論文投稿していただいた著者の方々、投稿論文を審査いただいた査読者の方々、長期にわたる編集作業に真摯に取り組んでいただいた本速報論文特集号の編集委員会の方々に、深く感謝の意を表したい。

「2014年度全国大会速報論文特集号編集委員会」

編集委員長：鷺尾 隆 (大阪大学)
副編集委員長：柏原 昭博 (電気通信大学)
編集委員：安藤 真一 (NEC)
小尻 智子 (関西大学)
平 博順 (大阪工業大学)
瀧川 一学 (北海道大学)
塚田 元 (NTT)
堤 富士雄 (電力中央研究所)
福井 健一 (大阪大学)
矢入 郁子 (上智大学)

(敬称略)